

# JSNMT 投稿論文の書式

表題（日本語）

---

（筆頭執筆者は JSNMT 会員であること）

5

和文要旨（投稿区分が『原著』および日本語論文の全てで必要です。）

注意：冗長にならず 400 字程度に納めること。

10

15 **英文 Summary**（投稿区分が『原著』および英語論文の全てで必要です。）

注意：ネイティブチェックを受けること。

250 語以内で作成すること

20

25

## 1. 緒言（はじめに）

5 注意：略語については、最初の記載をスペルアウト（正式名称を略さない）で記入すること。

## 2. 方法

10 2-1

2-2

注意：倫理規定に配慮している内容を記載すること。

15 検討項目が多い場合は、2-1, 2-2・・・のように項目ごとに分けて詳細を記載すること。

## 3. 結果

3-1

20 3-2

注意：検討した順番に記載し、3-1, 3-2・・・と項目ごとに分けて結果を明確に示すこと。図表に示されている重要な数値は、本文中に記載する。

25

## 4. 考察

30 注意：検討した順番に結果に対するコメントを先行研究の報告結果と比較しながら記載すること。

検討結果にない重要なコメントでは、参考文献を記載すること。

## 5. 結論

- 5 注意：検討結果から断定できることを記載すること。

### 引用文献 (references)

(例)

- 10 (1)引用文献の書き方は、バンクーバー方式（引用順方式）とし、本文の参照箇所に引用順に文献の連番(1)(2)(3)をつけ、本文の最後に連番順で文献を記述すること。

(2)引用文献の書き方は次の形式による。

〔雑誌〕番号) 著者名. 表題. 誌名 西暦年次; 巻数 (号数): 頁数

- 15 〔著書〕番号) 著者名. 書名. 発行所名, 西暦年次; 版数: 頁数,

(3) 英語表記の著者名は、姓, 名の順とし、姓は全て記述し、名は頭文字のみを記述する。例 Maeda Y (前田幸人)

(4)引用文献での著者名は、3名まで記載し、以下は和文雑誌にあっては“他”, 欧文雑誌は“et al”とする。

20

(和文例)

1) 白川誠士, 藤田 透, 矢野慎輔, 他. 3検出器型 SPECT 装置による心筋 SPECT 収集法の検討. 核医学技術 1995; 15 (1): 10-13

(英文例)

- 25 2) Yamamoto Y, Ono Y, Aga F, et al. Correlation of 18F-FLT uptake with tumor grade and Ki-immunohistochemistry in patients with newly diagnosed and recurrens gliomas. J Nucl Med 2012; 53(12): 1911-1915

## 図表の説明 (Legends)

図 1

5 Fig.1

表 1

Table.1

10

注意：図表・写真のタイトルとその説明文は，原著論文および英語論文は英文として、日本語論文は和文とする。

15

20